

平成29年度 新潟県立歴史博物館 講座のご案内

(後期:2017年10月～2018年3月)

期日	曜	時間	講座名	講師	内容	対象	定員	会場	持ち物等	申込方法
10月7日 14日 21日 28日	土	13:30～15:00	「古文書講座 -古文書読解のツボ-」 (全4回)	田邊 幹	地域に残る様々な古文書を読み解き江戸時代の社会の様子に触れながら、古文書独特の漢字の使い方、言い回しなどを中心に、古文書のツボを抑え、古文書の読み解き方を紹介します。	一般	35	研修室	—	電話、葉書、 FAX、メール
10月22日	日	13:30～15:00	秋季企画展・記念講演会 「川中島合戦はどのように 伝えられたか」	石川 博 氏 (駿台甲府小学・中学 ・高等学校指導監)	上杉謙信と武田信玄が川中島地方で争った川中島合戦は、華やかな合戦絵巻に彩られ、現在でもその激戦ぶりが喧伝されています。江戸時代以降、この戦いがどのように伝えられてきたのか、草双紙などを研究してこられた石川博先生にご講演いただきます。	一般	150	講堂	—	電話、葉書、 FAX、メール
11月4日	土	13:30～15:00	「小林虎三郎とオランダ 語」	西田 泰民	幕末に長岡に閉居を命じられていた小林虎三郎は藩士や民の啓発のため蘭書の翻訳を行ったことが知られていますが、その原書の題名などは不明とされてきました。近年、虎三郎が使用したとみられる蘭書の書写本が見つかり、それを手がかりに虎三郎の翻訳した蘭書の原本が判明しました。その経緯を解説します。	一般	50	研修室	—	電話、葉書、 FAX、メール
11月11日 18日	土	13:30～15:00	「古文書講座 -江戸時代を探る-」 (前編・後編)	渡部 浩二	頸城郡橋立村(現糸魚川市)にあった金山に関する江戸時代後末期の古文書を素材に、江戸時代の鉱山や社会について考えます。	一般	35	研修室	—	電話、葉書、 FAX、メール
11月25日	土	13:30～15:00	シリーズ「子ども」連続講座④ 「中国江南地域の産育儀礼 ～「満月」「百日」～」	陳 玲	主に「満月」祝いなどの映像を解説しながら、鑑賞していただきます。中国江南農村地域における産育儀礼を紹介します。	一般	50	研修室	—	電話、葉書、 FAX、メール
12月2日	土	13:30～15:00	「古代の史料を読む 1」	浅井 勝利	古代(奈良平安時代)の歴史史料を読み解きながら、当時の社会や政治について考えます。 (1と2は、連続する内容ではありません。)	一般	50	研修室	—	電話、葉書、 FAX、メール
12月9日	土	13:30～15:00	「古代の史料を読む 2」	浅井 勝利	古代(奈良平安時代)の歴史史料を読み解きながら、当時の社会や政治について考えます。 (1と2は、連続する内容ではありません。)	一般	50	研修室	—	電話、葉書、 FAX、メール
12月16日	土	13:30～15:00	「越後における木食但唱 の足跡」	井上 信	江戸時代初期に、現在の関東、中部地方の各地で修行した木食僧但唱。多くの石仏、木彫仏を残した但唱の越後に残る足跡を紹介します。また、但唱と米山薬師との関係について考察します。	一般	50	研修室	—	電話、葉書、 FAX、メール
1月20日 27日	土	13:30～15:00	「古文書講座 -越後文書宝翰集を読み解く-」 (前編・後編)	前嶋 敏	新潟県立歴史博物館の所蔵する古文書群「越後文書宝翰集」は、中世の新潟県を知るうえでの最重要資料のひとつです。この文書群は全部で44巻722通あり、大きく18群に分類されますが、今年はそのうち胎内市を拠点に活動した三浦和田氏に関する古文書を解説しながら、当時の越後について考えます。	一般	35	研修室	—	電話、葉書、 FAX、メール

期日	曜	時間	講座名	講師	内容	対象	定員	会場	持ち物等	申込方法
2月10日	土	13:30～15:00	「火焰型土器の国際交流」	宮尾 亨	平成28年10月、長岡市岩野原遺跡出土火焰型土器など計4点の縄文土器が大英博物館に3か年の予定で貸し出されました。それに先立つこと平成24年7月には津南町堂平遺跡出土の火焰型土器1点が同じく大英博物館に5か年(3か年延長更新)貸し出されています。これらの縄文土器が大英博物館へと貸し出された経緯に触れ、文化財を活用した国際交流や共同研究の成果を紹介します。	一般	50	研修室	—	電話、葉書、FAX、メール
2月17日	土	13:30～15:00	「火焰土器の鶏頭冠をつくる」	宮尾 亨	火焰土器を特徴づける鶏頭冠突起を紙粘土で実際につくります。単なる模倣ではなく、出土品を観察して復元した縄文時代の人びとと同じつくりを実習し、このような造形の意味を考えます。	一般	25	研修室	—	電話、葉書、FAX、メール
2月24日	土	13:30～15:00	「指のレプリカを作ろう(冬の部)」	山本 哲也	レプリカって何?なぜ博物館にはレプリカが飾ってあるの?…そんな質問がよく聞かれます。実際に自分の指のレプリカを作る作業をとおして、レプリカというものを考えてみます。	一般 親子	20	研修室	—	電話、葉書、FAX、メール
3月3日	土	13:30～15:00	シリーズ「子ども」連続講座⑤ 「雛遊びと人形」	大楽 和正	現在のように3月3日に雛人形を飾って女兒の成長を祝う風習は、江戸時代になって一般化したといわれています。本講座では子どもが関わる人形に注目しながら、雛遊びの歴史を考えます。	一般	50	研修室	—	電話、葉書、FAX、メール
3月10日	土	13:30～15:00	博物館学人物伝・その8 「文学と博物館学 —森鷗外を中心として—」	山本 哲也	平成23年度にスタートした「博物館学人物伝」の第8回です。今回は、文学と博物館学の関係を取り上げます。特に、帝室博物館総長となった森鷗外を中心に据え、さらに小説に登場する博物館とその作家の博物館観についてお話しします。	一般	50	研修室	—	電話、葉書、FAX、メール
3月17日	土	13:30～15:00	冬季企画展・記念講演会 「博物館で守るといふこと(仮)」	半田 昌之 氏 (公益財団法人 日本博物館協会 ・専務理事)	冬季企画展「守れ!文化財」に関連した内容の講演になります。	一般	150	講堂	—	電話、葉書、FAX、メール

<申込方法・手続き>

・申込方法は、「電話」「葉書」「ファックス」または「メール」での申込となります。いずれも、希望講座名、お名前、住所、電話番号の4項目を明記してください。

* 講師都合等による実施日の延期(中止)ということもあります。その際、申込者にはご連絡をいたしますが、お申込されていない方へはご連絡できませんので、ご注意ください。

※ 申込先

〒940-2035 新潟県長岡市関原町1丁目字権現堂2247番2 新潟県立歴史博物館 経営企画課
TEL:0258-47-6135 FAX:0258-47-6136 メール:koryu@nbz.or.jp

※ お申し込みいただいた際の個人情報は、今後の講座や講演会・イベント等のご案内に使用させていただくことがあります。

携帯電話からの申し込みメールはこちらからのQRコードをご利用ください。

